

シンポジウム K エコものづくり セクション

第34回

日本MRS学術シンポジウム

環境配慮型商品作りを強く世界が、求められています。素材や設計、生産、使用後の廃棄など、各過程での環境負荷を少なくした商品であること。文房具、食品など生活必需品から、自動車、家庭用の分散型電源まで、極めて広い範囲のものづくりに求められています。バイオマス資源を活用した循環型処理技術やバイオマス資源を使った環境配慮型商品作りなどが、強く求められています。バイオマス資源以外にも環境配慮型商品作りを強く世界が、求められています。素材や設計、生産、使用後の廃棄など、各過程での環境負荷を少なくした商品でコストも安価で循環型に使える環境配慮型商品作りを推進するセクションです。

開催日時：2024年12月16日（月） - 12月18日（水）

会場：横浜市開港記念会館、産業貿易センタービル

主催：日本MRS 後援：横浜市

開催形式：発表方法 口頭発表とポスター発表：対面形式

第34回日本MRS年次大会

<https://www.mrs-j.org/meeting2024/jp/#>

温室効果ガスの排出削減や気候変動をリスクとしてだけとらえるのではなく、カーボンニュートラルの動きをチャンスととらえ、国のグリーン成長戦略等もふまえ、カーボンニュートラルの実現に積極的な取組を促進する「ゼロエミッション」を推進して、事業化の動きが、大きく動いています。その中で材料科学・工学に求められる役割は一層大きくなり、2050年のカーボンニュートラル達成等を含むSDGsを念頭にした持続的な研究・開発活動が本格化しています。機械学習・AI・インフォマティクス等のデータ科学の発展・展開は材料研究にとり、そこで取り扱う材料研究の「データ」とは何なのかという根源的な問いを改めて考える段階に到達しつつあります。これには、どのように精緻な実験を更に突き詰めるか、発展著しい計算科学の材料分野での応用展開、多様性が大きい材料への解析理論の拡張などが含まれ、材料研究でのそれぞれの強みを再認識しつつ新たなチャレンジを改めて考える段階に来ているものと思われます。新次元のマテリアルズイノベーション強化を基礎学問の視点から支えるために、本会議ではさまざまな分野の専門家が領域や分野にとらわれず、我が国の材料研究開発を深く横断的に議論する場を提供いたします。

招待講演

1. 芝浦工業大学

副学長教授 高崎明人

「ウッドセラミックスに新たな応用と高機能化」

2. 東京大学未来ビジョン研究センター

教授 菊池康紀

「Green Transformation を駆動するライフサイクル思考」

発表申込について

1. 口頭発表 15分間 (発表10分間・質問5分間) 日本語
2. ポスター発表 A1(841×594mm)パネル1枚分

講演申込受付 2024年6月1日 締切日 2024年8月10日

アブストラクト:原則英語。日本語で投稿されたものも受理します。

アブストラクト書式等、詳細はウェブサイトをご覧ください。

講演登録

<https://www.mrs-j.org/meeting2024/jp/abstract.php>

Representative

岡部 敏弘 神奈川大学理学部 Email: toshihiro.okabe@gmail.com

Correspondence

大川 正洋 職業能力開発総合大学校 Email: ookawa@uitec.ac.jp

小川 和彦 宮崎職業能力促進センター Email: Ogawa.Kazuhiko@jeed.go.jp

原田幸明 エコマテリアル・フォーラム

柿下 和彦 職業能力開発総合大学校 斎藤 幸恵 東京大学工学部

大谷 忠 東京学芸大学大学院 中井 毅尚 三重大学大学院生物資源学研究科

足立幸司 秋田県立大学 高崎 明人 芝浦工業大学 工学部

西本 右子 神奈川大学理学部 山口明 岩手大学理工学部

青柳 充 県立広島大学 篠原嘉一 物質材料研究機構

斎藤 周逸 森林総合研究所 吉村治 金沢工業大学

秦啓祐 千葉職業能力開発促進センター